

栃木県原水協ニュース

No 264号 2025年7月1日
 原水爆禁止栃木県協議会
 〒321-0138 宇都宮市兵庫塚3-10-30
 栃木県労連気付 電話 028-653-1401
 メールアドレス: t-gensuikyo@outlook.jp

2025年原水爆禁止国民平和大行進県内スタート！



分灯式 さくら市東輪寺

6月28日、さくら市の東輪寺において、「広島原爆の残り火」の分灯式が行われました。21回目を迎える今年の分灯式は、小松宏生さんはじめ、東輪寺の檀家の方々などを含めて20数人の参加で行われました。

テレビニュース映像のDVD視聴の後に、小松宏生さんより原爆投下時の様子や1週間後に母親と父親を探しに広島市内の惨状を見て歩き回ったが見つからなかったこと。被爆者差別から、その後も被爆者であることを一切口にできず、40年前に栃木県に来て初めて「被爆者」であることを公にできたこと。また、被爆80年の今年、父親の眠る広島に是非行きたいと願っていたところ、広島市より平和記念式典への招待状が届いたことなどのお話がありました。

続いて、広島で被爆した木から作った楽器、コカリナによる美しい音色の演奏を楽しんだ。



東輪寺 「平和の鐘」前

後、広島原爆の残り火が行進に使用するランプに分灯されました。

人見照雄住職からは、25年前の原爆の残り火分灯時の思いや世界平和の願い、戦争を絶対させないとの思いで多くの人たちの協力を得て残り火を灯し続けていることなどのお話をいただきました。

最後に、栃木県平和行進実行委員長の天谷静雄氏より「今日の大国中心の力による支配に反対し、国連中心の平和を唱えていきたい。私たちは力を合わせてもつともっと運動をつくりあげ、日本政府に対して世界の主流である核兵器禁止条約に署名と批准を迫ることを目指して、平和行進で、この広島原爆の残り火を先頭に私たちは元氣いっぱい市民に核廃絶をアピールしていきたい」との決意が述べられました。



福島からの引き継ぎ式 那須町夕狩公民館

6月28日、福島県から栃木県へ「2025年原水爆禁止国民平和大行進」(北海道↓東京コース)が引き継がれました。

午後2時から、梅雨明けを思わせる強い日差しの中、照りつける那須町夕狩公民館で、福島県と栃木県から計50人余りの参加で引き継ぎ式が行われました。

福島の富田実行委員長は挨拶で「山形県から引き継いでから一週間、暑い中、核兵器のない平和な世界の実現を目指して行進してきた。トランプ大統領の広島・長崎原爆投下正当化発言に対して日本原水協が抗議声明を出したが、他のところでは何も言及しないのは問題だ」と述べました。

横断幕が栃木の代表団へと引き継がれて、天谷実行委員長が挨拶で「福島と同じ思い

小松宏生さん平和記念式典に招待される



被爆者の小松宏生さんが栃木県知事の推薦で今年の広島平和記念式典に県遺族代表として招待されました。分灯式前日に広島市長から式典案内の通知がありました。1月22日に偶然取材に来ていた下野新聞の記者が小松さんが被爆者と知って驚き、県担当者に伝えたことからこのたびの招待が実現したとのことです。

被爆者の小松宏生さんが栃木県知事の推薦で今年の広島平和記念式典に県遺族代表として招待されました。分灯式前日に広島市長から式典案内の通知がありました。1月22日に偶然取材に来ていた下野新聞の記者が小松さんが被爆者と知って驚き、県担当者に伝えたことからこのたびの招待が実現したとのことです。



同日午後3時、那須町役場前にて集会・スタンディングより栃木県平和大行進がスタートしました。

那須町から県内行進スタート！

同日午後3時、那須町役場前にて集会・スタンディングより栃木県平和大行進がスタートしました。

を引継いで、13日間、栃木県内の網の目の行進を立派に歩き続けたい。核兵器も原発もなくそうとの声を広げていきましょう。平和行進を核廃絶を願う人間の鎖として、国民共同の行進として大きくひろげてまいりましょう」と呼びかけました。

第11回「平和の鐘をつく集い」の案内

日時8月6日(水)8時～
 8月9日(土)11時～
 場所 東輪寺(さくら市)
 内容 ・人見照雄住職のお話
 ・原爆パネル展
 ・うたごえ



のチラシを使っで、通りがかった人と対話しました。

那須町の県北原水協では6月9日、那須町役場前で恒例の69行動を3人の参加で行いました。

「日本政府は核兵器禁止条約の署名・批准を」の署名の訴えと、原水協ニュースや平和行進

那須町の69行動



ます。どんなことがあっても、戦争は止めて欲しい」と話しながら、署名に応じてくださいました。

6月6日、栃木県原水協と新婦人宇都宮支部は、宇都宮市内のシンボルロードで「日本政府は核兵器禁止条約の署名・批准を」の署名行動を行いました。この日は通行人も少なく署名を寄せてくれたのは6人でしたが、70代の女性は「毎日戦争の報道を見ているとつらくなってしま

宇都宮市の69行動